

序章 はじめに

序 - 1 都市計画マスタープランとは

(1) 都市計画マスタープランの性格

都市計画マスタープランは、市民にとって安全で快適な都市環境をつくりだすための道路・公園づくりなど、さまざまなまちづくりに関する基本的、総合的、長期的な方針のことで、

市民に最も身近な自治体である区市町村が、地域に密着した見地から都市の個性を活かして定めることとなっており、都市計画法第18条の2に根拠をおくものです。

【都市計画マスタープランの性格】

基本的な方針

基本的な考え方を記述するもので、より具体的な内容については、各種の個別計画において検討することとなる。

総合的な方針

特定の分野に偏ることなく、まちづくりに関連する内容を幅広く記述する。

長期的な方針

短期的な視点にとらわれ過ぎずに、長期的なビジョンを描く。

(2) 都市計画マスタープランの意義

都市計画マスタープランは、主として次のような意義を持っています。

行政のみならず、市民・企業などが、まちづくりに関する目標を共有することにより、さまざまな主体が連携したまちづくりの推進が可能となります。

まちづくりに関する考え方を包括的にまとめるため、道路づくり、公園づくりなど、各分野のまちづくりが互いに連携を強化し、総合的な施策の推進に繋がります。

都市計画決定及び変更の基本方針となるほか、東京都や周辺の区市など他の行政機関や企業、団体、個人に対して、まちづくりへの協力を求める根拠となります。

【都市計画マスタープランの意義】

まちづくりに関する
目標の共有化

各種まちづくりの
連携の強化

まちづくりを推進する
うえでの根拠の明確化

序 - 2 狛江市における都市計画マスタープランと改定の背景

狛江市では、平成 13 年 2 月に狛江市都市計画マスタープラン（目標年次は策定時から概ね 20 年後の平成 32 年。以下「旧計画」という。）を策定し、都市計画に関する施策や事業を進めてきました。

平成 15 年には*狛江市まちづくり条例*を制定し、市内で開発などの事業を行う際の手続きや調整の仕組みなどを明確化するとともに、市民の発意による「地区のまちづくり」、「テーマ型まちづくり」を制度化しました。平成 16 年及び平成 18 年に、敷地面積の最低制限の導入、また、平成 18 年には絶対高さ制限の導入をそれぞれ行っています。

また、狛江市の魅力となっている資源などを選定する「*狛江のまち - 魅力百選*」も平成 19 年からスタートし、平成 23 年現在、91 件選定されています。平成 20 年には、公共交通不便地域の解消、交通利便性の向上などを目的とし、コミュニティバス「こまバス」の運行を開始しました。

こうした中、目標年次の中間となる平成 22 年を迎えたほか、社会経済や狛江市を取り巻く都市環境をはじめとする都市計画に関連する状況は、旧計画の策定時と比較して大きく変化しました。また、この間に、*狛江市第 3 次基本構想*を新たに策定し、旧計画に関連する計画も策定、改定が行われ、これらの計画との整合を図る必要も生じました。

こうした状況を踏まえるとともに、基本的には旧計画に示している理念などを継承し、今後 20 年間の都市計画の方向性をまとめた計画として改定を行ったものです。

* 本ページに限らず、斜字体としている用語については、用語解説（P74～P79）を参照

序 - 3 狛江市都市計画マスタープランの位置づけ

狛江市都市計画マスタープランは、東京都が定めた「調布都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」に即して定めています。また、狛江市第3次基本構想に示す市政運営の基本理念を継承しつつ、都市計画分野に関する将来像や施策の方向を定めています。

狛江市都市計画マスタープランで定めた将来像や施策の方向を踏まえて、都市計画法に基づく個別の都市計画（用途地域・地区計画・都市計画道路や都市計画公園といった都市施設・市街地開発事業など）の決定（変更）を検討し、また必要に応じて部門別計画を定める（改定する）際に根拠とします。

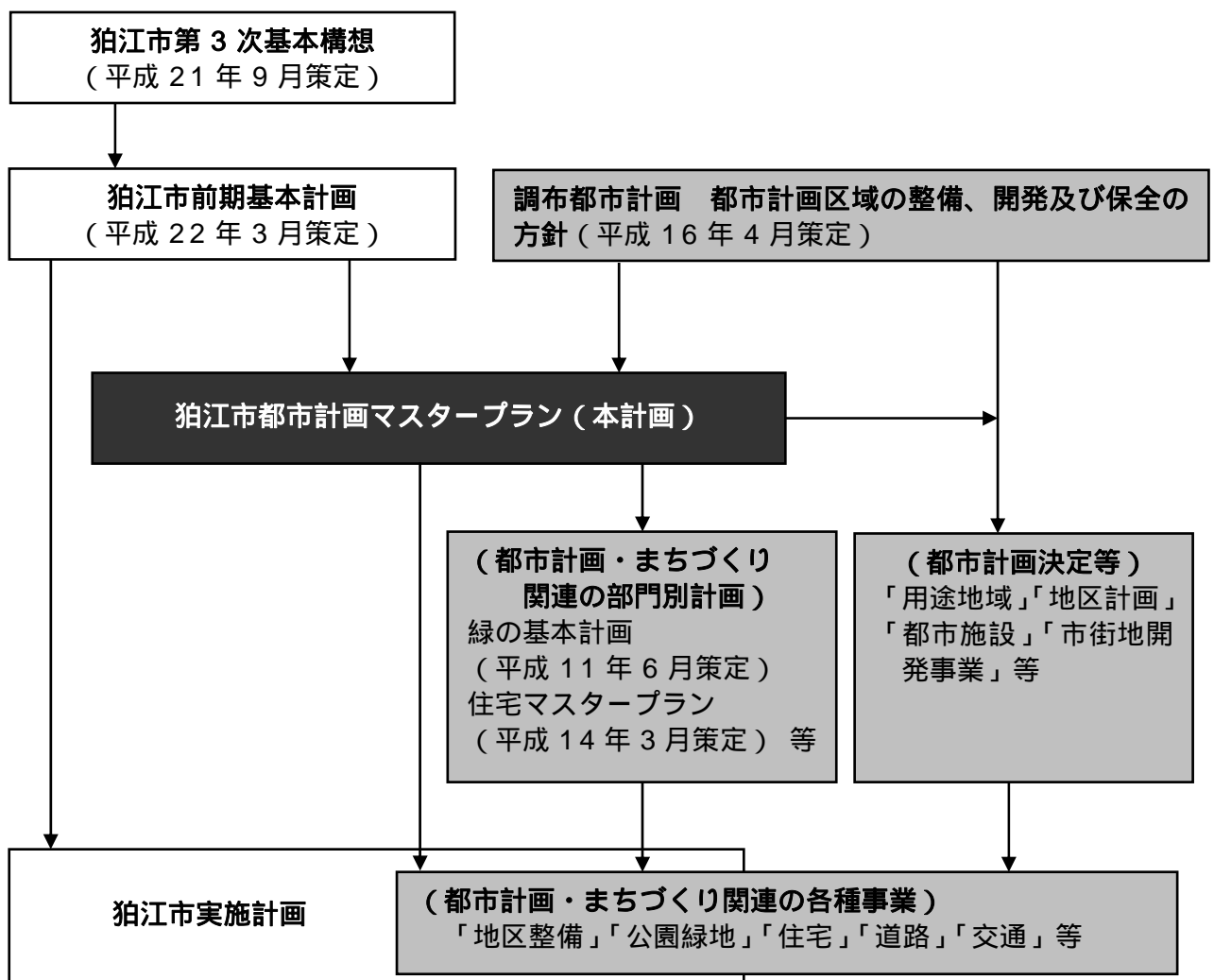


図 狛江市都市計画マスタープランの位置づけ

* グレーのスクリーンがかかっている部分は、都市計画に直接関連する事項

序 - 4 計画の目標年次

都市計画については、中長期的な視点に立って進めていくことが必要となるため、本計画の目標年次を、旧計画の計画期間と同様、概ね 20 年後の平成 43 年度とします。

ただし、まちづくりは極めて長い期間を要するものであり、さまざまな事業を全て完了させることは困難である場合も想定されることから、施策によってはそれ以上の長期的な視点に立って進めていきます。

表 本計画の計画期間

年度	22	23	24	25	26	27	・・・	31	・・・	43
本計画										
第3次基本構想										
前期基本計画										